第四十二回フォト句会優秀作品(26年9月15日)

自由題

今月は大月さんが1,2位を独占。大月ワールドをご堪能下さい。





酔いつぶれ 次の一日

地獄見る 大月和彦 寸 評:店先に寝転がっている 男。仲間が酒樽に寄りかかって ます。立札には「一緒に酔っぱ らって記念撮影をどうぞ」とあ ります。酒屋にしては思い切っ た客寄せ。果してその効果は?





身を沈め 口説き上手と

奈落まで 三春

寸 評:選者の一人が「実に色っぽい。感動した」と推薦の弁を述べたが、写真も句も苦し紛れに作ったようで、正直、なんだか判らない。 芸術とはそんなものなのでしょうか?



付け句

今月は矢澤さんの出題です。多摩動物園の象を背後から撮ったもの。象もビックリしたでしょう。もう一つのビックリは飛び入りの森田さんの作品です。ほんの5分間で作った句が二句とも入選です。

1) この尻で飛ばせ場外ホームラン	森田	晃司
2) このお尻どこかで見たぞ懐かしい	森田	晃司
3) 女房に尻尾つかまれうなだれる	三	春
4) 失礼ね前から撮ればはいチーズ!	清水	悟
5) 目あきでも全体「象」をつかみかね	池田	隆
6) シワシワの尻追いかけてどうするの?	中村	晃也

寸 評:

- 1) むかし西鉄ライオンズに中西太というでか尻の選手が本塁打を量産しました。
- 2) お尻を見て懐かしいとはどんなお知り合いでしょうかあ?
- 3) 隠し事が顔に出て見破られ、晩飯を貰えなかった昔を思い出します。
- 4) バックシャンという言葉があります。前に廻ってがっかりしたことも。
- 5) 群盲象を撫でるの故事。目前の手当てに忙殺され全体像を見失うのは誰?
- 6) 女房に一喝されました。